

## 消費税率が「5段階」になる？ 一体どういう事！

2019年4月

消費税増税に対する「景気対策」で消費税率が「3%、5%、6%、8%、10%」と5段階になります。・・・

安倍政権は増税への対策として「ポイント還元」などを行うとしています。

ポイント還元とは中小の小売店でクレジットカードなどのキャッシュレス

(非現金)で支払をした場合に、購入金額の5%相当をポイントで還元するというものです。この5%は政府が負担します。ただしコンビニなどフランチャイズ店はポイント還元率を2%としました。このポイント還元と、食料品などにかかる消費税率を8%に据え置く複数税率をセットにすると買う商品(食料品かそれ以外か)、買う店(大手スーパーか中小小売店か、コンビニか)、買い方(現金かカードか)の組み合わせで、消費者が実質的に負担する消費税率が、図のように5段階になってしまいます。あまりの複雑さのために現場の混乱は必至です。日本チェーンストア協会など3団体は「日々の買い物において必要のない混乱が生じる」「過当な競争を招き込む」などの懸念を挙げ見直しを求める要望書を政府に提出しました。「ポイント還元」はカードで払えばポイントが付くから、カード利用が広まる。増税後9か月はカード会社のピンハネ(手数料)制限は3・75%だが、その後は、上げられる可能性が大きい。カード会社とアベの密約を疑いたくなるのは私一人か？

「健康飲料」と見られている商品の税率					
(買う商品、買う店、買い方による実質の消費税負担率)					
	買う商品	オナジC (飲食料品)		リボビタミンD (医薬部外品)	
		現金	カード	現金	カード
買う店	大手スーパー	8% (複数税率)	8% (複数税率)	10% (飲食品でないため、複数税率不適用)	10%
	コンビニ	8%	6% (複数税率+2%還元)	10%	8% (2%還元)
	中小の小売店	8%	3% (複数税率+5%還元)	10%	5% (5%還元)